



基本問題を確認しよう

数B

等差数列の和

等差数列の和 初項 a の等差数列の第 n 項目までの和は

$$\text{末項が } l \text{ のとき, } S_n = \frac{1}{2}n(a+l)$$

$$\text{公差が } d \text{ のとき, } S_n = \frac{1}{2}n\{2a + (n-1)d\}$$

1 次の等差数列の和を求めなさい。

(1) 初項が 4, 公差が 3, 項数が 20

(2) 初項 5, 末項が 62, 項数が 30

(3) $1 + 2 + 3 + 4 + \dots + n$

(4) $1 + 3 + 5 + 7 + \dots + 31$

2 100 以下の自然数のうち, 5 の倍数であるものの和を求めなさい。